

12月4日～10日は「人権週間」です

人権相談受け付けます

12月4日から10日までの1週間は「第77回人権週間」です。改めて、家庭・学校・職場・地域の身近なことから人権について考え、一人ひとりが人権意識を育てていきましょう。

「人権擁護委員会による人権相談」

▼日時 12月5日(金) 午後1時～4時

▼会場 第1会場 ぬくもりの館大刀洗

第2会場 南部コミュニティセンター

※人権擁護委員会による相談は、偶数月の第3金曜日にぬくもりの館大刀洗で行っています。

人権の花運動

今年の「人権の花運動」は、豊かな心や優しさと思いやりの心を育むことを目的に、菊池小学校の3年生が取り組みました。この運動は、こどもたちが協力し、ひまわりの種を育てることによって生命の尊さを実感するために毎年行っている人権啓発活動です。

夏には元気なひまわりの花が咲き、その後たくさんの種が採れました。11月6日(金)に、採取した種を風船につけ、皆の想いを乗せて空に飛ばしました。



☎福祉課障がい福祉係 ☎77-2266

町内小・中学校での取り組み

岡生涯学習課 生涯学習係
☎77-2670

町内の小・中学校では、他の人の立場に立って考える想像力や共感力を育み、人権が尊重される学習活動づくりや環境づくりを各領域で進めています。

こどもたちが、差別や偏見をもたず、お互いの良さや可能性を認め合えるように学習を重ねています。地域にも広げていってほしいと思います。学習の一端をご紹介します。

大刀洗中学校 人権についての作文

知ることから始まった私の気づき

大刀洗中学校 三年

ある日、母と一緒にテレビを見ていた時、「おっさんずラブ」というドラマが始まりました。母が「このドラマ面白いよ」と言っていたので、なんとなく一緒に見始めました。すると、男の人が男の人のことを本気で好きになるシーンがでてきて、なぜ男の人が男の人を好きになるのだろうと不思議な気持ちになりました。私はそれまで恋愛は男の人と女の人がするものだと思っていたのですが、そのドラマの中では、男性同士が一生懸命に気持ちを伝え合っていて、その気持ちはとてもまつすぐで、やさしくて、見ていて心があたたかくなりました。最初は少しとまどいもありましたが、だんだんと「人を好きになるって、こういうことなんだな」と思えるようになりました。気になってきたので、「LGBTQ+」という言葉葉を調べてみると、レズビアン(女性が女性を好きになる)ゲイ(男性が男性を好きになる)など、いろんな恋愛の形や性のあり方があることを知りました。心の性と体の性が違う人、恋愛感情を持たない人、自分がどんな性なのかまだわからない人もいて、「みんなが同じではない」ことに初めて気づきました。

性の多様性、性自認への理解が少しずつ進んでいる一方で、今もまわりに言えずに悩んでいるたり、「気持ち悪い」と言われたり、からかわれて傷ついてしまうことがあると知り、とても悲しくなりました。もし私のクラスにそういう人がいたとして、ずっと誰にも言えずに苦しんでいると思うと胸が痛くなります。好きな人がいても言えなかったり、自分の気持ちを隠して生きている人がいたりするというのは、とてもつらいことだと思います。

私はこれまで、「女の子なんだから女の子らしくしなさい」とか「男の子なんだから泣いたらだめ」というような言葉や普通に通な「普通じゃない」と決めつけてしまうことで、誰かを傷つけてしまうかもしれない。私は「人を好きになる気持ちは、性別に関係なく大切なものなんだ」と思えるようになりました。そして、知ること、気づくことで考えることが、人権を守る第一歩だということにも気がつきました。

これから私は、自分と違う人を「へん」と思ったりせず、「そういう人もいるんだな」と自然に受けとめられる人になりたいです。そして、誰かが悩んでいるときに、「そのままでいいよ」「大丈夫だよ」とやさしく声をかけられるようになりたいです。私自身も、まわりの目ばかり気にせず、自分の気持ちを大切にしながら、自分らしく生きていきたいです。